

3 学期始業式のお話

児童生徒のみなさん、最初に新年のあいさつを行いましょう。「みなさん、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。」

いよいよ、令和 8 年、2026 年がスタートしました。みなさんの冬休みはいかがでしたか？ 穏やかに楽しく過ごすことができましたか？ お年玉はたくさんもらいましたか？ 9 年生は受験勉強頑張りましたか？ 冬休みにあったことを友達や先生にたくさん教えてあげてくださいね。

今日は最初に転入生の紹介をします。

今日は地震のお話をします。12 月に東北地方で、一昨日 6 日には島根・鳥取県で大きな地震がありました。校長先生も、今から 31 年前の阪神淡路大震災では特に怖い思いをしました。朝方「ドーン」と背中を突き上げるような大きな揺れを感じ、家にあった大きなテレビが飛んでしまいました。日本は地震大国と呼ばれるほど、いつどこで大きな地震が起こるかわかりません。だから、皆さんには地震に備え、普段から心がけてほしいことを 3 つお願いしたいと思います。

1. 「ありがとう」や「ごめんね」を忘れずに伝える

地震はいつ起こるかわかりません。だからこそ、家族や友だちに「ありがとう」「ごめんね」をちゃんとその時に伝えましょう。阪神淡路大震災では思いを伝えきれずに別れることになってしまい、後悔した人が沢山いました。

2. 避難訓練は本気でやろう

いまみや小中一貫校では年間 3 回の避難訓練があります。「訓練だから遊んでもいいや」と思わず、本当の地震だと思って行動することが命を守ります。

3. 家での約束を決めておこう

「地震が起きたらどこに集まる？」「連絡がとれないときはどうする？」など、家族と話し合っておくと安心です。校長先生の家でも子どもが小さい間には、こういった場合の避難場所を 2 つ決めていました。これを決めているだけでも少し安心したことをよく覚えていています。阪神大震災のときも、たくさんの人々が助け合いました。みんなの命は、みんなで守るものと考え、行動していきましょう。

今日から 3 学期、期間は短いですが大きな行事が続きます。健康に注意して頑張っていきましょう。

これで始業式のお話を終わります。